

Turin's Tea Time

テュリンのティータイム



皆さん、いかがお過ごしでしょうか。アイスティーを飲みながら緑風を楽しむ時期です。

今月のテーマは食事です。私は日ごろ「オーストラリア料理」のことをよく聞かれます。日本やイタリア、中国などの歴史が長い国と比べるとオーストラリアはまだ若く、母国の料理が少ないのです。また、多文化の国なので「オーストラリア料理」といえばさまざまな国の料理が浮かびます。しかし、オーストラリアでしか食べられない食事もあります。



▲昨年行った料理教室では、オーストラリアの伝統的なラミントンケーキを作りました

今日から使える

ひとこと英会話

Lesson19

自分はそんなにバカじゃない!と伝えるときに一言

"I wasn't born yesterday!"

読み方 「アイ ウォゼン ボーン イエスタデー」

意味 「甘く見ないで!」

「チョコケーキを食べたのは僕じゃないよ」

「甘く見ないでよ!」

直訳すると「私は昨日生まれたんじゃないよ」となります。昨日生まれた赤ちゃんはまだ何も知らず頭がいいと言えないので、誰かにだまされそうになったときに「自分はそんなにバカじゃない」という意味で使います。



国によって味が違う「海外料理」

私が一番食べたくなるものは「ミートパイ」

ベークド野菜やローストビーフ、子羊、テーブルビートがついているハンバーガーなど、オーストラリア風の洋食はたくさんあります。どれも人気ですが、私が日本にいる間に一番食べたくなる食べ物はミートパイです。ほかの国では「パイ」といえばデザートですが、オーストラリアでは牛肉メンチとグレービーが入っているパイのことを指します。ミートパイは店によって全然味が違うので、おいしいものとおいしくないものがあります。福岡市にオーストラリア料理のレストランがあるので、いつか行ったときは報告します。



▲大好きなミートパイ

国によって異なる「海外料理」の味

小さな田舎の町でも中華料理店とタイ料理店があるほど、オーストラリアでは中華料理とタイ料理がすごく人気です。シドニーに住んでいた大学生のころは、タイ料理が食べたくなったとき、多くの店の中からどの店に行くかいつも迷っていました。

「海外料理」は、国ごとに違いがあります。例えばオーストラリアで食べられる中華料理は、日本の中華料理とちょっと違います。オーストラリアでは、鶏肉

を甘く揚げた「ハニーチキン」が人気ですが、日本では見たことがありません。また、オーストラリアの日本料理といえば、照り焼きチキンやチキンとアボカド巻きですが、日本料理と違うものもいっぱい出ます。シドニーにある値段の高い日本料理店には、ワニの天ぷらがあってびっくりしました。



▲オーストラリアの照り焼きチキン

日本で食べられる洋食にも変わったものがたくさん

一方、日本で食べられる洋食にも、外国人にとって変だと思われるものがあります。例えば「イタリア料理が食べたい!」と言った日本人の友達は、日本にあるイタリア料理店で、明太子と海苔の入ったパスタとコーンのピザを頼みました。イタリア料理が大好きな私にとって、あれは絶対にイタリア料理ではなく日本料理だと思いましたが、何も言わずにトマトパスタを食べました。皮肉なことに、私にとって一番おいしくないイタリア料理店は長野県に、一番おいしくない日本料理店はイタリアのトリノにあります。

「海外料理」の店は、よくその国の国民の味に合わせています。海外では、その国の名物だけではなく、その国にある「海外料理」を食べるのも面白いかもしれません。

※ページ内のイラストは、テュリンが描いています